

第2章 基本戦略

本市のMICE振興を推進していくための未来像を明らかにし、関係者が共通の目標に向かって取り組めるように、目指す方向性を示します。

これまでのMICE誘致を強化するとともに、主催者目線での対応や、本市ならではのMICEコンテンツや地域特性を生かして、本市におけるMICE開催の付加価値を生み出すことにより、誘致競争力を高めていきます。

また、MICEの開催により、ビジネス・イノベーションの機会の創造や人材育成につなげるなど、MICEの開催効果の最大化を図り、高松らしいMICEの創出を目指します。

① 本市の目標とするMICE

本市が目指すMICE振興の方向性を次のように設定し、関係者と共有しながら、戦略的にMICE振興を推進します。

(1) MICEの形態

「第6次高松市総合計画」における目指すべき都市像の実現に向けたまちづくりの目標の一つである「産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち」を実現するため、本市におけるMICEの意義をふまえて、MICEの積極的な誘致に努めます。

MICEの中でも、開催効果が高い国際会議や学会等のコンベンションを中心に誘致を進めます。また、地域への経済波及効果が高いインセンティブ・ツアーや、ビジネス効果の高い展示会などについても誘致に取り組みます。

(2) MICEの分野

MICE誘致において、競争力を持ち、他都市との区別化をしやすいMICE分野として、本市ならではのMICEコンテンツや、学術分野、産業分野を重視します。

①本市ならではのMICEコンテンツ

例)高松盆栽、屋島、コンパクトシティ、高松丸亀町商店街など

②市内の大学等における重点研究分野

例)香川大学の研究分野であるナノテクノロジー、バイオ、環境、希少糖など

(3) 規模

サンポート地区のMICE機能を有する施設である高松市文化芸術ホールや、かがわ国際会議場、周辺のレクザムホール（香川県県民ホール）などの収容能力から、500人～2,000人規模のMICEに特に重点をおきます。また、香川県が建設を予定している5,000人を超える規模の新県立体育馆の整備によって、収容能力が大幅に拡大することから、MICE参加者のアクセスの向上や施設間移動のストレスフリー化等を図るために周辺環境整備に努めます。

(4) 高松らしいMICEの創出

①開催効果の最大化

MICE開催に当たっては、本市の強みである文化芸術などの持つ創造性を生かしながら、教育・啓発活動などの関連事業や周辺イベントの企画、運営を進め、開催効果の最大化を図ります。

また、MICEの開催により、産業の活性化や人材育成など、本市の長期的な競争力向上に取り組みます。

②シーフロントのMICE施設の集積を活用、都市機能の連携

MICE施設は、M、I、C、Eのそれぞれが使用する会場のことと、本市ではシーフロント、特にサンポート地区には、高松市文化芸術ホール、かがわ国際会議場、宿泊施設が集積しており、その周辺にはレクザムホール（香川県県民ホール）などもあります。

また、屋島や史跡高松城跡（玉藻公園）、栗林公園は、「高松Tゾーン」の3大観光地区であり、アフターコンベンションやユニークベニューとしても活用できます。

本市の強みでもあるシーフロントのMICE施設の集積を活用するとともに、「高松Tゾーン」内のMICE関係施設との連携や高松空港からシーフロントへの交通アクセスなどの本市の都市機能を最大限に生かした高松らしいMICEを重視します。



シーフロント

③本市のシンボル「屋島」の活用

本市のシーフロントの重要な拠点である屋島は、前述のとおり、天然記念物の指定を受けているほか、古代山城屋嶋城、屋島寺、源平合戦古戦場などがあり、史跡にも指定されています。また、山上からの多島海の優れた景観や豊かな自然環境などは、我が国で最初の国立公園に指定される決め手となりました。

2013年1月には、「屋島活性化基本構想」を策定し、市民と一緒に、その特性や価値の保存と地域資源としての有効活用を図り、屋島を世界に誇れる本市のシンボルとして、更なる魅力の向上を図っています。

コンベンションエリアであるサンポート地区と屋島の回遊性を確保するとともに、屋島の夕景・夜景を楽しむミニツアーの商品開発などアフターコンベンションや、山上からの景観や自然環境などの多様な魅力を生かしたユニークベニューとしての活用も多面的に取り組んでいきます。

また、現在、整備を進めている屋島山上拠点施設を核として、屋島山上や周辺の施設を活用しながら、香川県、四国、瀬戸内海といった広範なエリアにおけるMICE拠点として、グローバルMICE都市／強化都市等との連携を図り、サテライト会場やエクスカーションとしての活用も検討します。

このように固有かつ多様な価値を持った屋島は、本市ならではのMICEを提供するために不可欠な要素です。屋島をMICEに活用することで、MICE振興にはアフターコンベンションやユニークベニューによる本市ならではの付加価値を、屋島にはMICE参加者によるにぎわいを創出することができます。

本市のシンボルである屋島をMICE振興に活用するとともに、屋島活性化に関する事業の推進により、屋島の魅力が向上することは、その相乗効果で本市全体の活性化につながります。



② 本市のMICE目標指標

本市のMICE振興における数値目標を次のように設定し、戦略的に施策を実施していきます。

■コンベンション数

現状(2015年度)	目標(2023年度)
217件	306件
<p>(公財)高松観光コンベンション・ビューローのコンベンション統計におけるコンベンション開催件数を目標として設定します。 件数は国際会議だけでなく、学会や国内大会、スポーツ大会、合宿などを対象としています。</p>	

■国際会議開催件数

現状(2015年)	目標(2023年)
5件	10件
<p>日本政府観光局(JNTO)の国際会議統計における国際会議開催件数を目標として設定します。</p>	



かがわ国際会議場での学術会議